

9月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

毎年のように「今年の夏は、例年に比べて暑かった」という言葉を耳にしますが、今年は本当に今までにない暑さだったように思います。コロナ禍を経て、旅行や海水浴、帰省など開放された夏を過ごすことができたと思いますが、どこへ行くにも暑さ対策が大変だったのではないのでしょうか。8月のちとせだよりに「暑熱順化」をするために、適度に汗をかく機会を持つようにと書きましたが、外に出て遊ぶどころか部屋にいただけでも汗が止まらない毎日でした。皆様にとっての今年の夏はどのようなものだったのでしょうか。

幼稚園では、4年ぶりに宿泊を伴うキャンプを再開することができました。保護者のみなさんにYMCAの幼稚園と言えば・・・と伺うと、昔は良く「キャンプ!」という答えが返ってくるぐらい、キャンプのイメージも強かったのですが、コロナ禍において3年間実施することができず、本当に久しぶりのキャンプでした。4年ぶりということで、キャンプのイメージがない保護者の方も多く、また引率が初めてという教諭ももちろんいましたし、色々な意味でリスタートする気持ちで準備してきました。

YMCAのキャンプは、家庭から離れて過ごすというだけでなく、自然の中でテレビやゲームもない環境で過ごします。まさに非日常的な生活です。話だけ聞くと「テレビやゲームがないなんてつまらない!」と思いがちですが、このタイムスリップしたような非日常的な生活が、普段気付くことのない気付きや体験を与えてくれます。日が昇れば目を覚まし、日中思い切り遊べば、お腹が減り、お腹が減れば食事をして、また遊ぶ。そして夜には疲れ果てて就寝するという、ごく当たり前の「遊ぶ」「食べる」「寝る」にスポットが当たります。色々遊ぶための物や道具、環境が与えられるわけではなく、シンプルだからこそ、自然の中で子どもたちは考えを巡らしながら、遊ぶことに集中していきます。しっかり遊べるといつも以上にご飯を美味しく、たくさん食べることができ、そしてぐっすり眠ることができます。本来は、そのような生活の中で健康が保たれ過ぎてきたものですが、いつしか世の中には便利な物や道具がどんどん普及し、その普及したものに頼ることで困ることなく生活ができるようになってきました。

このような時代においても、非日常的なキャンプを実施していくことは、豊かな環境に頼ってばかりではなく、自然に目を向け、自然と共存し、自分の力で生きていく力を養っていく体験、経験ができるからなのかもしれません。キャンプは、年中児・年長児を対象とし、全員参加ではなく、任意のプログラムですが、機会があればぜひチャレンジしてみてください。卒園してからも小学生対象のキャンプもたくさんありますので、ご検討いただければ幸いです。

さて、9月から1年で最も長い2学期を迎えます。喜びや楽しみをお友だちや先生と「いっしょに」分かち合いながら元気に過ごして欲しいなと思っています。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
(エフェソ信徒への手紙2章17節)

9月主題 「いっしょに」

聖句 「人はパンだけで生きるものではない。」(ルカによる福音書4章4節)